

◇再編コンセプトについて

- 公共施設の種類ごとの配置方針(R01策定)に基づき、施設種類・圏域ごとに3分類する。
- ①同一圏域内でサービス機能の重複(同一種類の施設が複数存在)が見られる施設種類
- ②サービス機能の重複はなく、利用状況に応じた規模に見直す施設種類
- ③配置方針ですでに事業方針(存続・廃止)を定めている施設種類

施設種類	圏域Ⅰ(市)				圏域Ⅱ(区)				圏域Ⅲ(中学校区)			
	再編の基本的考え方	分類	適正数	更新時期評価	再編の基本的考え方	分類	適正数	更新時期評価	再編の基本的考え方	分類	適正数	更新時期評価
ホール施設	圏域内での集約を検討	①	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
コミュニティ施設	維持(機能重複がないため)	③	-	-	-	○	維持(機能重複がないため)	③	-	-	-	○
美術館	両館を維持	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
博物館・資料館	歴史博物館は現状を維持	③	-	-	-	○	圏域内で多機能化・複合化	③	-	-	-	○
文化財的施設	【圏域設定なし】施設は保存・活用	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図書館	維持(機能重複がないため)	③	-	-	-	○	維持(機能重複がないため)	③	-	-	-	○
							(地区図書館)利用状況に応じ運営方法の見直し	②	○	○		
スポーツ施設	(国際規格取得など高い機能を有する施設)	①	○	○	○	○	(圏域Ⅰ、Ⅲの定義に該当しない施設)類似用途の施設が区内・隣接区に複数存在し、かつ、低利用・老朽化などの課題がある場合は集約。利用実態に応じ、コミュニティ施設や学校体育施設との多機能化・複合化	①	○	○	○	○
	全施設共通の配置方針に反しない限り維持						(利用主体が地域住民)利用実態に応じ、コミュニティ施設や学校体育施設との多機能化・複合化	③	-	-	-	-
ひまわりクラブ	-	-	-	-	-	-	小学校の余剰教室発生や更新時に順次複合化	③	-	-	-	○
子育て支援施設①(児童館)	維持(機能重複がないため)	③	-	-	-	○	新設・更新せず小学校など地域の既存施設への機能移転	③	-	-	-	○
子育て支援施設②(子育て支援センター)	-	-	-	-	-	-	維持	③	-	-	-	○
高齢者福祉施設	-	-	-	-	-	-	老人憩の家：新設・更新せず老朽化や利用率が著しく低い施設は廃止、地域の拠点施設へ機能移転	③	-	-	-	○
保健福祉施設	維持(機能重複がないため)	③	-	-	-	○	維持(機能重複がないため)	③	-	-	-	○
幼稚園							5園に再編(沼重、新津第一、新津第二、結、西を存続予定)、センターの役割を果たす幼稚園へ集約	③	-	-	-	○
							民営化を推進し現在の施設の半数程度を目標に集約	③	-	-	-	○
保育園	-	-	-	-	-	-	適正規模の考え方に基づき小規模校は集約化・複合化	②	○	○	-	-
小中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公設デイサービスセンター	-	-	-	-	-	-	廃止・民営化	③	-	-	-	-
公営住宅	【圏域設定なし】継続管理または建替を前提とし当面管理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
斎場	ピーク時(R22)以降集約化	③	-	-	-	○	ピーク時(R22)以降集約化	③	-	-	-	○

◇施設評価及び再編案作成手順

